



商工
いといがわ

糸魚川



4

No.500
2017 April

ひすいの街めぐり 107

「糸魚川の宝石 ヒスイ」

5月4日は「みどりの日」ですが、糸魚川市民にとっては「糸魚川・ヒスイの日」でもあり、記念すべき日です。

昨年、ヒスイは国石として選定されたこともあり、新たな動きが出ています。勾玉をはじめ、大珠など古代風デザインのものから様々な型となり、日本に広まりつつあります。

(写真撮影：龍見広報委員)

がんばろう糸魚川!!

糸魚川商工会議所

〒941-8601 新潟県糸魚川市寺町2-8-16



平成29年度事業計画決まる

～3月通常議員総会開催～

3月27日（月）当所ホールにおいて平成28年度3月通常議員総会を開催し、提案された平成29年度事業計画および平成29年度事業計画・一般会計・特別会計収支予算についてなど賛成可決されました。

平成29年度重点目標

糸魚川市駅北大火からの復興まちづくりの推進 「企業に寄り添う伴走型支援」の推進強化



基本方針

昨年11月のアメリカ大統領選挙の結果が日本経済の先行きに不透明感をあたえている中、12月22日に発生した糸魚川市駅北大火により中心市街地約4万平方メートル、147棟が焼失する大惨事となりました。

被災した地域には、会議所会員・非会員合わせて55の事業所が活動いたしておりました。被災をされた皆さまには心からお見舞いを申し上げます。

本年2月に実施した管内景況アンケートでは、サービス・その他以外の業種において景況は平成27年よりポイントを下げ、平成29年景況予測においても卸・小売と製造で悪化するとの見方が強く、地域経済の先行きが懸念されております。このような地域経済環境と大きく様相が変わった中心市街地を抱える中で平成29年度の会議所事業を実施いたします。

最初に、新幹線駅から近いという立地条件を生かした中心市街地の早期復興に向けて「復興まちづくりビジョン策定特別委員会」を設置し、20年・30年先にも賑わいがあるまちとなる計画案を早期に策定し、計画の実現に向けて活動してまいります。

つぎに、被災事業所の事業再開に向けて県・市の補助制度を活用するために会議所が受け皿となり、事業所の再開と賑わいづくりに向け支援をしてまいります。本年度も継続して支援いたします。

小規模事業者の事業継続にむけて、国から認定を受けた「経営発達支援計画」に基づき、企業に寄り添う伴走型支援の強化を図り、事業所の相談業務・支援業務のさらなる充実を図ってまいります。

平成28年度事業で実施した「空き家・空き店舗対策特別委員会の調査・研究」の成果として、本年4月以降、一般社団法人「空き家活用ネットワーク糸魚川」が設立され空き家

・空き店舗の売買やリフォームなどの紹介・取り次ぎを行うこととなっています。会議所としても人口定着・移住の促進に向けて行政と連携して支援していくことにしています。

「奴奈川姫」と国石に選定された「ひすい」のイメージを活用した地域ブランド化事業は、昨年度取りまとめたブランドコンセプトに基づき参画事業者による商品開発ならびに全国への販路開拓に向けて支援をいたします。

糸魚川地域40年来の悲願である、「地域高規格道路松本・糸魚川連絡道路」については早期事業化に向け国・県・市に対する要望活動を強化いたします。

今後も行政と会員事業所とのパイプ役として運営してまいりますので、皆様からのご理解とご支援をお願いいたします。

事業概要

1. 中小・小規模企業振興対策の充実

(1) 経営発達支援計画に基づく経営支援

- ① 指導員による巡回・窓口相談（経営革新・経営、金融、労務、経理、税務、取引、創業）の充実
 - ・夜間経営相談の開催 毎週月曜日
- ② 専門相談員（弁護士、税理士、社労士等）による無料相談の実施
 - ・経営安定相談室…毎月第3水曜日
 - ・金融・労務・法律（事業承継）・IT等に関する相談
- ③ 経営安定・倒産防止対策の推進
 - ・小規模支援法に基づく持続的経営に向けた事業者支援
 - ・消費税軽減税率対策窓口相談等事業の実施
 - ・セーフティネット（金融、労務等）相談窓口の開設
 - ・中小企業倒産防止共済の普及推進
- ④ 経営・技術強化支援事業の推進
 - ・ミラサボ事業の推進
 - ・専門家派遣制度（エキスパー

トバンク）の活用

- ⑤ 経営革新支援
 - ・経営革新計画認定をめざす企業への支援
 - ⑥ 創業支援センターの開設
 - ・糸魚川創業支援ネットワークとの連携
 - ・創業者への支援と創業支援制度の普及拡大
 - ⑦ 事業承継支援
 - ・新潟県事業引継ぎ支援センター等専門機関との連携
 - ⑧ 販路拡大支援
 - ・商談会等への出展支援
 - ・誘客促進支援 【新規】
 - ・海外展開支援
 - ⑨ 経営IT化の推進
 - ・インターネットビジネスの推進
 - ・会員向けインターネット通販事業の実施
 - ・情報通信技術活用研修事業等の推進
 - ⑩ 小規模企業等の記帳・税務等の代行、労働保険事務組合による代行サービスの推進
 - ⑪ 会員企業景況調査（半期ごとに実施）・L O B O（ロボ）調査・交通量調査（隔年）の実施、各種経営資料・調査資料の提供
- (2) 金融円滑化の支援
 - ① 各種融資制度、信用保証制度の活用による金融円滑化支援
 - ・無担保・無保証人融資制度（マル経資金）、会員向け特別融資（メンバーズ融資、はやわざ）
 - ・信用保証制度の活用促進
 - ・県・市制度融資、政府系金融機関融資及び信用保証の斡旋
 - ② 金融円滑化のため関係機関との連携強化（国金友の会、中小公庫懇話会）、事業の支援
 - (3) 中小企業政策・税制改正等に関する調査研究、意見要望
 - ① 国、県、市などへの陳情・要望活動

2. 人材育成・雇用安定支援

- ① 経営者・従業員向け人材育成、能力開発セミナー等の開催及び関係団体との連携による研修事

業の推進

- ・新入社員セミナー ②検定事業を通じた人材育成、簿記、珠算、販売士検定等の実施
- ③糸魚川市、雇用促進協議会並びに関係機関との連携による雇用安定化の推進
- ④事業主退職金制度（小規模企業共済）従業員退職金制度（特定退職金共済制度、中小企業退職金共済制度）への加入促進
- ⑤永年勤続優良従業員表彰式の開催
- ⑥中堅社員交流事業の実施
- ⑦高校生の国際化と人材育成の推進
 - ・国際交流スクールへの支援
- ⑧外国人技能実習生受入れに向けた調査、研究

3. 糸魚川市駅北大火からの復興まちづくりの推進

- ①糸魚川市駅北大火による被災事業者の事業再開支援 【新規】
 - ・糸魚川市仮設店舗設置等支援事業の実施（仮設店舗設置支援、イベント・販促事業）
- ②復興まちづくり計画の策定 【新規】

4. 地域産業の活性化とまちづくりの推進

- ①北陸新幹線を活用した地域活性化の推進
 - ・行政、関係機関、近隣都市との情報交換と協力体制の強化
- ②中心市街地活性化事業の推進
 - ・まちなか賑わいづくりの推進
- ③商店街組織の支援とイベント事業に対する支援
- ④地域産品開発の推進
 - ・地域力活用新事業∞全国展開プロジェクトの実施 奴奈川姫を活用したブランド化事業（本体1年目）
 - ・なりわいネットワークへの参画
- ⑤外国人観光客招致促進事業の推進
 - ・インバウンド事業への参画、支援
- ⑥ヒスイを核とした地域の情報発信と地域活力向上
 - ・ヒスイデザイン画コンテストへの支援

- ・ヒスイネイル、ヒスイカクテルの運営支援
- ・ヒスイ商組合の活動支援
- ⑦糸魚川市まち・ひと・しごと創生「総合戦略」と連携した、空き家・空き店舗対策事業の推進

5. 地域振興事業の推進

- ①地域内消費拡大の推進
 - ・地元消費促進運動の継続実施 知っとくゼミの開催。糸魚川市地元消費促進協議会との連携
 - 糸魚川市駅北大火からの復興を契機とした地元消費の促進と建設工事等における地元企業への優先発注の啓発
 - ・市内共通商品券の利用促進
- ②糸魚川経済団体連絡協議会の活動推進
 - ・能生商工会、青海町商工会との連携強化と事業推進
 - ・国石「ヒスイ」選定記念プレミアム商品券事業の実施 発行総額 4.5億円使用期間 2/1～6/30
 - ・企業の次代を担う人材育成事業の実施
 - ・空き家・空き店舗対策事業の実施と移住の推進 【新規】
- ③広域連携活動の推進
 - ・塩の道経済懇談会（塩尻、松本、大町商工会議所）との連携強化（糸魚川担当）
 - ・姫川経済懇談会（小谷、白馬、能生・青海町商工会）との連携強化
 - 塩の道地域との連携による観光振興の促進
 - ・塩の道経済懇談会を中心とした広域観光連携への対応
- ④地域資源を活かした地域振興事業の実施
 - ・糸魚川ジオパーク検定の業務受託
 - ・地酒組織の活動支援
- ⑤国、県等行政機関との連携を図るための水曜会の開催
- ⑥地元出身者等との連携による地域の振興

- ・東京糸魚川会、関西糸魚川会との連携
- ⑦交通ネットワークの整備と利用促進活動の推進
 - ・日本海ヒスイラインと新潟方面への利便性向上
 - ・大糸線の利便性向上と活用対策
 - ・姫川港の整備促進
 - ・地域高規格道路松本糸魚川連絡道路の事業化に向けた要望活動の実施
- ⑧文化講演会の開催
- ⑨意見交換・要望活動の推進
 - ・地域振興に係る要望・提言活動の実施
 - ・糸魚川地域振興局、糸魚川市との連携及び意見・情報交換
- ⑩各種イベント事業への参画と活動支援
 - ・北陸新幹線を活用した長野方面からの誘客対策

6. 組織の強化と財政基盤の確立

- ①部会・委員会活動の推進
 - ・部会を横断した関連業種懇談会の開催
 - ・部会独自事業の実施
- ②会員増強の推進
- ③各種共済制度の普及推進
- ④広報活動の充実と各種調査資料
 - ・経営資料の提供
 - ・会報「商工糸魚川」の発行。ホームページの充実
 - ・会報を利用した会員企業の情報提供サービスの実施（情報宅配便）
 - ・市民版会報の発行 年1回予定
 - ・糸魚川駅自由通路、デジタルサイネージを活用した情報発信 【新規】
- ⑤会員研修旅行、会員ゴルフ大会の開催
- ⑥定期健康診断の受診促進
 - ・定期健康診断健診料助成事業の実施
- ⑦新年賀詞交換会の開催
- ⑧日商、県連合会等上部団体並びに関係団体との連携強化
- ⑨共済加入者還元事業の継続実施
- ⑩議員研修会の開催（役員改選時に実施）【新規】

グラフで見る平成29年度予算

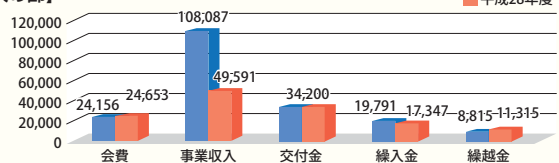
平成29年度予算総額 2億3,005万円

1) 会計別内訳（収支・支出同額）

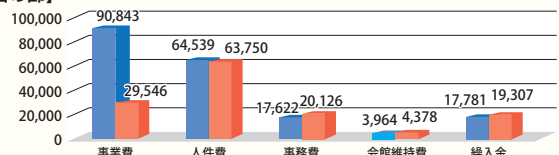
	平成29年度 予算額	平成28年度 予算額	増減
一般会計	125,748	66,968	58,780
相談所会計	38,790	38,250	540
収益事業会計	29,624	31,306	△1,682
法定台帳会計	587	582	5
退職金会計	7,600	4,120	3,480
財政調整基金会計	22,705	20,015	2,690
義援金・復興事業基金	5,001	0	5,001
合計	230,055	161,241	68,814

2) 科目別内訳

【収入の部】



【支出の部】



平成29年度の委員が決まりました

3月の議員総会において平成29年度の委員会委員が決定いたしました。
選出された委員には今後当所事業の企画運営にお力添えいただきます。

継続して設置する委員会

1) 「姫の国」プロジェクト特別委員会

イ. 設置の目的

平成29年度地域力活用新事業無限大全国展開プロジェクトに係る「奴奈川姫」ブランド化プロジェクトを実施するため

ロ. 任期

平成29年4月1日～平成30年3月31日

ハ. 委員

氏名	事業者名	附記
1 永江 善昭	(株)大和屋	担当副会頭
2 樋口一三	ありがたや	
3 今井 栄子	(有)いまいスポーツ	
4 関沢 恵子	お花の店ブルーファン	
5 清水 裕美	(株)アオ	社員
6 伊藤 晶子	主婦	
7 渡辺 洋子	(有)渡辺園園 フェルエッグ	店長
8 中嶋千代子	(株)ナカシマ 糸魚川店	専務
9 福島 直子	ヒスイの郷(株)	店長
10 遠藤紀美子	(資)信越環境サービス	会長
11 清水 沙織	新潟県糸魚川地域振興局	地域振興課
12 竹田しをり	糸魚川市役所	企画財政課
13 福光希世江	糸魚川市役所	商工農林水産課【新任】
14 松木 知子	糸魚川信用組合	まちづくり推進室【新任】

2) 小規模企業振興委員会

任期

平成29年4月1日～平成30年3月31日

氏名	事業者名	附記
1 上谷 武	(株)オートサービスカミヤ	
2 高松登志男	(有)彦左工門	
3 今井 栄子	(有)いまいスポーツ	
4 後藤 大洋	(株)小滝建材	【新任】
5 室川 亜紀	室川印刷	専従者【新任】

3) 会員ゴルフ大会実行委員会

任期

平成29年4月1日～平成30年3月31日

氏名	事業者名	附記
1 猪又 重信	チロル	
2 室川 力	奴奈川観光開発(株)	支配人
3 椿井 琢光	椿井歯科医院	
4 小林 正子	カプリノ	
5 藤巻 道隆	(資)藤巻電業	
6 木島 一	(株)木島組	
7 川名 奈巳	エステサロン J a d e	
8 小川 節雄	小川建設(株)	

4) 会員旅行実行委員会

任期

平成29年4月1日～平成30年3月31日

氏名	事業者名	附記
1 五十嵐 豊	(株)五十嵐商店	
2 伊藤 忠雄	伊藤商会	
3 山澤 任子	(名)山澤商店	社員
4 高橋 良男	(名)春よし	
5 樋口佐登子	(株)黒姫会館	
6 猪又 一義	カネコ運輸(株)	
7 波平 敏幸	アクサ生命(株)糸魚川分室	社員
8 小坂 晴子	(名)富江商店	社員
9 山田 陽子	ヤマ美容室	



永年の功績を讃え、5名に感謝状を贈呈いたしました



3月通常議員総会の開会に先立ち、下記の6名に感謝状および記念品を贈呈させていただきました。大変ありがとうございました。

日本商工会議所表彰 【敬称略】

- 池原 英男 前監事、元常議員 (池田屋酒造(株))
- 加藤 一馬 前監事、元議員 ((有)二葉デンキ商会)
- 故・片山佐一 前常議員 ((株)三愛旅行社)
- 猪又 重信 前議員 (チロル)

糸魚川商工会議所表彰

- 岩崎笑美子 会員旅行実行委員会 (ヒスイの郷(株))

正副会頭会議

3月15日

◎日程調整

がんばれニューフェイス2017式典、糸魚川白嶺高校入学式 ほか

◎定点カメラの設置について

◎新入会員の承認、会員の異動について

◎3月通常議員総会について

◎平成29年度職務分担について

◎平成29年度「姫の国プロジェクト」について ほか

4月3日

◎日程調整

糸魚川法人会糸魚川支部総会、松糸道路建設促進期成同盟会幹事会、個店の魅力アップ女性の会総会、空き家活用ネットワーク糸魚川設立総会、糸魚川五醸の会総会、東北電力(株)糸魚川営業所 竣工修祓式、北アルプス日本海広域観光連携会議総会 ほか

◎新入会員の承認、会員の異動について

◎奴奈川ネットワーク事業特別委員会の平成28年度での解散について

◎文化講演会の講師について

◎復興まちづくり第2回委員会への意見提案について

◎景況調査速報について ほか

平成29年景況予測は横ばいを維持

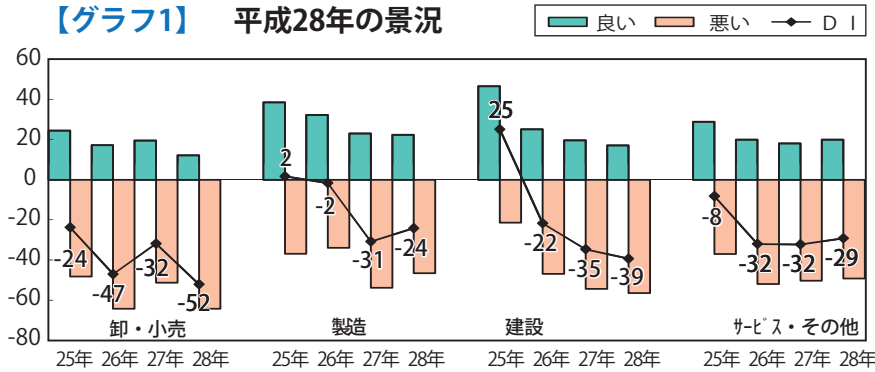
平成28年会員景況アンケート調査結果概要

糸魚川経済団体連絡協議会(糸魚川商工会議所、能生商工会、青海町商工会)が毎年1月に実施している(今年は2月に実施)「市内景況アンケート」の概要がまとまりました。この調査は平成28年の景況や売上動向など20項目についてのアンケート調査で、傘下の会員企業のうち対象とする1,134社に郵送で行い436社(回答率38.4%)

から回答をいただきました。

調査結果は、施策の参考にするとともに行政に提出して行政施策の立案にも活用されます。また、調査結果の閲覧・配布もしておりますので詳しくは当所までお問い合わせください。

【グラフ1】 平成28年の景況



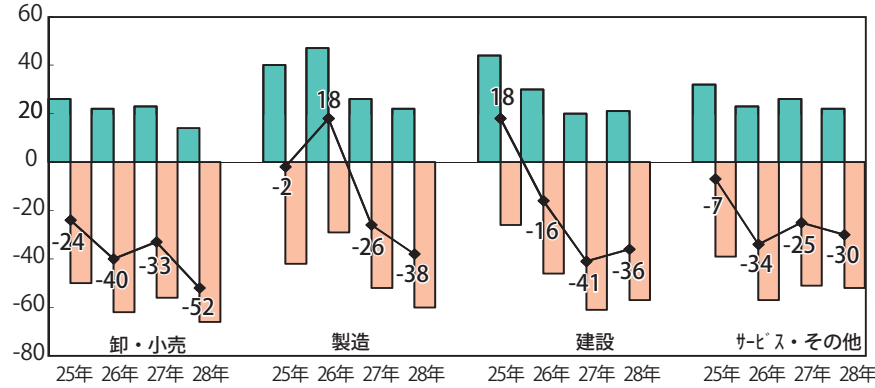
景況DI

「製造・サービスその他で改善、卸小売・建設で景況落ち込む」

平成28年の景況感は、製造・サービスその他で改善、卸小売・建設で落ち込み全産業景況DIは▲38.6(昨年対比▲6.1)となりました。

特徴としては青海地域の製造でDI値プラス33と55ポイントの大幅改善をみせ全産業、全地域で唯一プラス域に転じました。

【グラフ2】 平成28年の売上高



売上高DI

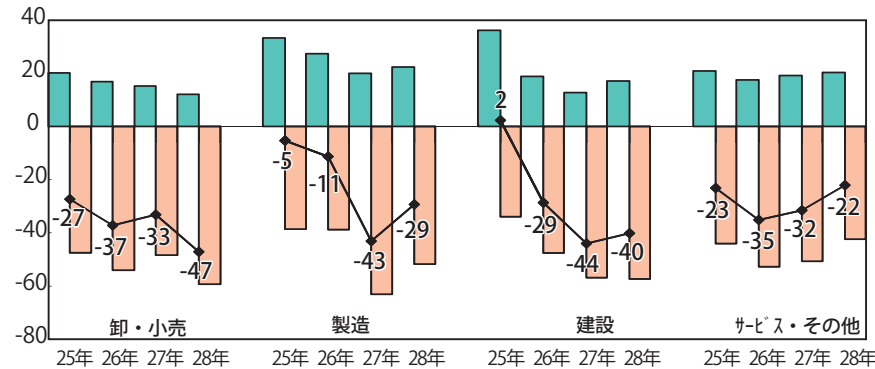
「建設を除く、全業種でポイント落とす」

平成28年の売上高は建設を除く全業種でポイントを下し、結果全産業売上高DIは▲39.5(昨年対比▲7.9)となりました。

建設は唯一ポイントを上昇させ、北陸新幹線の建設需要がなくなり始めた平成26年以降、急速にポイントを下げてきたところによりやく歯止めがかかりました。

卸小売・サービスその他の業種では、駅北大火によりクリスマス商戦や年末商戦で思うように売上を確保できなかったことが少なからず影響したと考えられます。

【グラフ3】 平成28年の営業利益



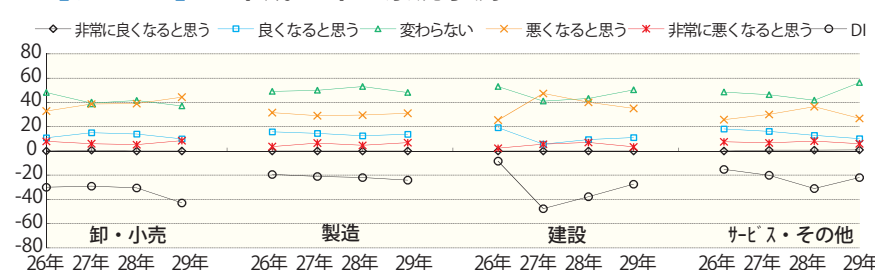
営業利益DI

「卸小売を除く全業種でポイント改善」

営業利益は卸小売を除く全業種でポイントが改善し、全産業営業利益DIでは▲36.0(昨年対比プラス0.8)となりました。特に改善幅が大きかった製造業を地域別にみると、糸魚川▲53.0(昨年対比▲13.0)、能生▲6.0(昨年対比プラス56.0)、青海33.0(昨年対比プラス66.0)となり地域によって大きく異なる結果を示しました。

コスト上昇分の価格転嫁は全体として進んでいるものの個人消費の低迷が長期化している中で販売価格を引き下げざるを得ない状況が卸小売りではみられるようです。

【グラフ4】 平成29年の景況予測



景況予測

平成29年景況予測DIは、卸・小売、製造で若干ポイントを下し、建設、サービスその他では緩やかに改善を示しました。全体としては1.0ポイント改善するにとどまり先行きの不透明感が続いていることが伺えます。

注：DI指数(景況動向指数)とは、ディフュージョン・インデックス: Diffusion Index、拡散指数、景気拡大指数、景気動向指数などの意味で訳されており、景気指標のうち上昇を示している指標の割合をしめします。景気動向の判断指標として利用されています。

私の意図

314



一般社団法人 糸魚川青年会議所

JAYCEE 活性化委員会委員長

(株) オートサービス カミヤ 渡辺 澄男

●組織の活性化を図る●

本年度、総務室 JAYCEE 活性化委員会の委員長を仰せつかりました。

JAYCEE 活性化委員会では、「糸魚川青年会議所メンバーの交流を通じ、絆を深め、組織の活性化を図る」という目標に向かい1年間活動して参ります。

現在、糸魚川青年会議所メンバーの約3分の1が入会3年未満という組織体制の中、活動歴の長いメンバーも短いメンバーも共にJC活動の魅力や意義を共有する事で、多くのメンバーが積極的に参加できるようになると考えました。

一人でも多くの仲間たちと糸魚川の明るい未来へ向けた様々な活動を行う上で、まずは青年会議所メンバーが一枚岩となる必要があります。そのためにも、現在在籍するメンバー同士の絆をより深め全員が積極的に活動できる環境を作ることが「糸魚川の明るい未来」へ繋がると思っています。

これから沢山のメンバーと交流を通じて絆を深められるよう積極的に活動して参ります。

定点カメラを設置しました

現在、糸魚川駅北大火から街が復興するまでを記録するため、ビルの屋上などから定点で撮影するカメラを設置しました。



糸魚川信用組合本町支店からの様子



第四銀行の設置箇所の様子

奴奈川ネットワーク事業特別委員会は解散しました

奴奈川ネットワーク事業は、今年3月で発足から節目の20年を経過いたしました。

本事業は、当地域出身者が「ふるさと糸魚川」のためにネットワークをつくり、地元と相互に協力し合っふるさとの活性化、地域振興を図ることを目的として活動をはじめました。

これまで観光事業支援、ふるさとイメージアップとPR、若手経営者の人材育成、Uターンの促進、また都市との情報交換など地域の活性化に取り組み、当初の目的を達成することができました。

近年、奴奈川市民の高齢化と東京、関西糸魚川会の活動が充実してきたことから、東京、関西糸魚川会と地元出身者の連携を強化するため、本年3月末をもって本事業を発展的解散することとして奴奈川ネットワーク事業委員会で決定をいたしました。

奴奈川市民の皆さまと地元で会の運営にご尽力いただきました皆さまに感謝を申し上げるとともに、今後は更に東京、関西糸魚川会との連携を強化し、地域の振興を図ってまいります。

「地域資源の深掘りを生かすコラボを」

先日、山形県の庄内地方でアル・ケッチャーノというイタリアンレストランを経営する奥田政行シェフにお話を伺う機会がありました。そのとき、地域発のヒット商品づくりの視点で勉強になることがたくさんあったのです。奥田シェフは鶴岡市を皮切りに東京・銀座の山形県アンテナショップ内にあるヤマガタ・サンダンデロなどたくさんのレストランを経営・プロデュースしています。また、全国各地の地域の食材を使った商品やレシピの開発でも引っぱりだこのです。食を通じて地域を活性化したいという意識のとても強い方でした。

奥田シェフに何って感動したのは、地域資源（奥田さんの場合は主に食材）を発掘していく際の手法や考え方が徹底していることでした。山や川の地形や日照はもちろん空気が（風）の通り道や地質、水質などそこで採れる食材の味の関係を深掘りしていくのです。例えば標高が550メートルくらいで、爽やかな風が通る地域ではチャンピオン級の牛が育つそうです。蚊などの虫が少なく牛がストレスを感じないからだそうです。また庄内平野で冬のうちに道路が凍結しやすい場所を地図上に記録しておいて、後で線ですぐと夏にはそこが風の通り道となっていて良い野菜が育つエリアが分かるということです。

このような調子で、地域の自然がもたらす恵みを徹底的に調べた上で、それを最終的な料理にどう生かすかを考えるそうです。地域の個性は他ではまねができないもので、その特徴を突き詰めるオリジナルなものが出来上がります。

面白いのは、こうして発見された個性ある資源の特徴を料理する（商品化する）ときの考



え方です。例えば食材の持つ「苦み」や「エグみ」「香り」などは、よいものもありますがすべてが好ましいものとは限りません。そんな偏りを生かすために「同質なものを組み合わせる」「相補的な関係のものと組み合わせる」という2つのアプローチを取るそうです。食材を組み合わせることで個性を残しつつ、さらに新しい価値を生み出します。

料理のプロですから、味はつくろうと思えば調味料や技を駆使してどんなものでもつくれるわけです。しかし、もともと地域の自然・風土が生み出した個性を残せば他の場所ではつくりえない地域資源になれるわけです。

奥田シェフは生産者さんと「物々交換」を駆使します。買った買われたりという主従の関係ではなく、お互いの価値を認め合った上で共に繁栄しようとの考えがベースにあります。個性ある地域資源を生かすために、なんでもかんでも自分だけで完結するのではなく、「何と組み合わせればよいか」「誰と組めばよりよいものが出来るか」を考えてみるのは大事なアプローチだと思います。野菜について言えば、これまで曲がったキュウリに象徴される個性が強いものは、形や味が市場に受け入れられないとして淘汰（とうた）されてきました。近年こうした傾向は見直されています。地域の個性が市場で価値を持つチャンスが迫っているのだと思います。



日経BPヒット総合研究所 上席研究員
渡辺 和博 / わたなべ かずひろ

日経BP社、日経BPヒット総合研究所 上席研究員。1986年、筑波大学大学院理工学修士課程修了。同年、日本経済新聞社入社。日経パソコン、日経ビジネス、日経トレンドイなどIT分野、経営分野、コンシューマ分野の専門誌編集部を経て現職。全国各地の商工会議所などで地域振興や特産品開発のための講演・コンサルを実施。消費者視点のものづくりをテーマに地域発のヒット商品育成を支援している。

中小企業相談所コーナー

振興委員と指導員の

巡回ペア訪問



木伊京屋分店

木島繁子さん・岡田昌子さん

昨年末の糸魚川大火で事業所と自宅を全焼され、4月5日に糸魚川駅前銀座通り商店街に仮設店舗で営業を再開された木伊京屋分店に振興委員の池原さんと訪問いたしました。

創業は約250年前の江戸時代、現在4代目の店主木島繁子さんと娘の昌子さんの2名で営業を行っています。今回の大火では代々受け継がれていた掛け軸、金銀屏風や茶道具など蔵にしまっていたものが焼失してしまい、大変ショックでしたが、いろいろな方から励ましの言葉を頂き、少しでも早く事業再開に向けて準備をしてきたとのこと。また、大火の前に多くのお客様より預った神棚に飾る御幣(神祭用具)が焼失してしまいましたが、年明けに間に合うように新たに製作し大変感謝されたそうです。

お店では冠婚葬祭用品の他、シタケや昆布などの乾物用品を取り扱っており、乾物は県外から注文がある人気商品でもあります。現在種類は少ないですが、今後取扱商品を増やしていく

予定です。

今までもお客様が気軽に立ち寄り、冠婚葬祭について相談をされる方、茶飲み話を楽しみにされている方や外国の方も来店され休憩されるなど利用されています。

今後については、以前の場所に店舗を再建し代々受け継がれてきた伝統を絶やさず守っていきたいとお話いただきました。



左：池原委員 中央：繁子さん 右：昌子さん

木伊京屋分店

所在地 糸魚川市大町1丁目4番21号
電話 552-0111
営業時間 9時30分～18時30分
定休日 毎週火曜日

振興委員 池原 寿子
会議所指導員 山岸 昌浩

経営支援課コーナー

確定申告で個人住宅被害者の糸魚川大火関連で、火災保険建物の部分と家財部分で損失が出た場合は3年間雑損控除(保険金を除く)を受けることが出来ます。特に家財保険に入っていない場合が多く、50歳夫婦の場合1,150万円の雑損控除が受けられます。また、被災場所の土地を売った時は販売金額から雑損控除額を差し引くため所得税が軽減されます。

詳しくは、「雑損控除等の申告相談」が下記日程で開催されます。

日 程 平成29年4月10日(月)から26日(水)
※土日は除きます。
※期間が過ぎて相談可能です。

受付時間 午前9時から午後4時まで(1時間程度かかります)

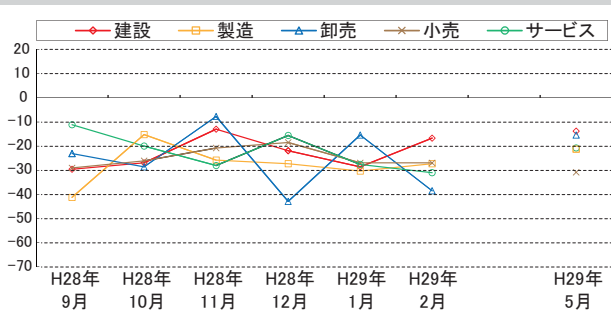
会 場 糸魚川税務署

電話番号 025-552-0382
(糸魚川税務署調査部門直通)

記帳専任職員
黒坂 忍

CCI-LOBO (商工会議所早期景気観測システム) 北陸地区産業別業況DI

H29年2月の概要



- 全産業の業況DIは、前月と比べほぼ横ばい。産業別にみると、建設業、製造業で改善、小売業で横ばい、その他の2業種で悪化した。各業種から寄せられたコメントは以下のとおり。
- 「民間工事が堅調なことに加え、大雪の影響で市からの除雪関連の発注が増え、売上は改善した」(土木工事業)、「得意客の来店頻度が減少していることに加え、団体客も少なくなっており、売上は悪化した」(飲食業)、「消費者の健康志向の高まりにより、甘酒の売上が好調。全体の売上も前年比プラスを維持している」(食料品製造業)
- 業況の先行き見通しDIは、全産業では今月と比べ改善の見込み。産業別にみると、小売業で悪化、その他の4業種で改善の見込み。

いといがわ 地域経済三二情報

項目	単位	27年1月 ～12月	A 28年11月	B 27年11月	前年A. 同月B	傾向
1 市内金融機関預金高	百万円	-	195,571	192,303		↗
市内金融機関貸金高	百万円	-	69,193	68,047		↗
2 当所管内から国民生活金融公庫へ普通貸付件数	件	20	2	100.3		↘
同申込金額	千円	208,320	10,000	26,500.66.7		↘
3 当所マル経資金申込件数	件	21	3	37.7		↗
同金額	千円	118,200	15,450	21,600.0		↘
市振興・景気/県産育資金申込件数	件	14	-	71.9		—
同申込金額	千円	77,162	-	0		—
4 糸魚川職安管内月間有効常用求人数	人	8,727	70	679		↗
糸魚川職安管内月間有効常用求職数	人	7,178	53	107.9		↘
5 求人倍率	倍	-	1.3	93.9		↗
6 糸魚川市 一般家庭 ガス使用量	m	5,884,998	493,130	511,242		↘
営業・その他	m	3,290,633	272,290	265,364		↘
7 糸魚川市 一般家庭 上水道使用	m	3,293,835	258,750	264,086		↘
営業・その他	m	1,203,189	88,140	90,074.98.0		↘
8 糸魚川市一般住宅建築届出 ()は新築分	件	116	5	97.9		↘
()は新築分	件	(91)	(5)	55.0		↘
同店舗併用住宅建築届出	件	10	0	62.5		↘
同工場建築工事届出	件	5	0	0.0		—
9 糸魚川市人口	人	-	44,510	45,120		↘
同世帯数	世帯	-	17,574	17,530.98.0		↗
10 糸魚川IC入出車輻数	台	1,342,523	106,460	106,052.00.3		↗

新しく糸魚川に赴任しました

水曜会のメンバー (敬称略・順不同)

当所では、市内官公庁の出先機関と「水曜会」の名称で定期的な情報交換を開催しています。この度、春の異動で着任された方々をご紹介します。



糸魚川地域振興局長
うらべ きよかず
浦部 清和



糸魚川地域振興局
農林振興部長
まつうら まさひろ
松浦 正憲



糸魚川警察署長
わたなべ はじめ
渡邊 元



新潟地方務局
糸魚川支局長
たにひろ おさむ
谷平 修



国土交通省高田河川国道事務所
糸魚川国道維持出張所長
かとう ひさき
加藤 久樹



日本郵便(株)
糸魚川郵便局長
かたやま まさひろ
片山 正博



糸魚川県立
糸魚川高等学校長
すぎた つとむ
杉田 勉

第3回 糸魚川・ヒスイの日記念イベント

糸魚川ヒスイと酒まつり開催

日時：5月4日(木・祝) 10:00~17:00
(5月4日は「糸魚川・ヒスイの日」です)
会場：ヒスイ王国館2階

参加者募集中!

第27回会員研修旅行は

大自然満喫「北海道 道東の旅2泊3日」

実施日 7月9日(日)~11日(火)
参加費 119,000円
定員 30名
申込締切日 5月31日
※折込みのチラシをご覧ください。

【お願い】会報は事業内、各部署で回覧お願いします。

事務局日誌

2017年3月

- 1日(水) 正副会頭会議、小規模事業者経営改善資金審査委員会、糸魚川駅北大火被災事業者無料個別相談会(1日、15日)
- 2日(木) 糸魚川市駅北復興まちづくり計画検討委員会、交流人口拡大会議
- 3日(金) 糸魚川法人役員会、姫の国プロジェクト委員会
- 6日(月) 平成28年度第6回常議員会、第1回復興まちづくりビジョン策定特別委員会、観光サービス業部会役員会
- 2日(木) 復興まちづくりビジョン策定特別委員会県内視察
- 2日(木) 糸魚川雇用促進協議会幹事会、松本商工会議所建設部会 糸魚川復興支援訪問
- 9日(木) 空き家・空き店舗対策特別委員会、北アルプス日本海広域観光連携会議、日本海口まわる全体会議
- 11日(土) 平成29年度上刈商工連合会総会
- 13日(月) 第2回復興まちづくりビジョン策定特別委員会、糸魚川さかな祭り実行委員会
- 14日(火) 奴奈川経済懇話会監事会
- 15日(水) 正副会頭会議、観光協会正副支部長会議、経営安定相談室、企業経営研究会個別相談会、アクサ生命トップマネジメントカンファレンス、ヒスイネイブル会議
- 16日(木) 日商通常会員総会、第3回復興まちづくりビジョン策定特別委員会、糸魚川まちづくり連続学習会パートIものづくり部会
- 17日(金) 新潟県商工会議所連合会通常総会、イマオン木村副市長との復興に向けた意見交換会、外国人観光客誘致研修会、新潟県国際観光テーマ地区推進協議会
- 22日(水) 第4回復興まちづくりビジョン策定特別委員会、奴奈川ネットワーク実行委員会、経営・技術強化支援事業(エキスパート・バンク) 事業報告懇談会、県連相談所長会議、北アルプス日本海広域観光連携会議
- 23日(木) 糸魚川市都市計画審議会、糸魚川タウンセンター役員会、観光協会会議、小規模企業振興委員会、空き家対策事業の事業説明会①(青海)
- 24日(金) 新潟県雇用環境整備財団理事会、空き家対策事業の事業説明会②(糸魚川、能生)、五醸の会イベント班会議、糸魚川本町通り商店街振興組合理事会
- 25日(土) いとがわバル街vol.4
- 27日(月) 平成28年度3月通常議員総会、第5回復興まちづくりビジョン策定特別委員会、被災会員事業所と復興ビジョン策定特別委員会との懇談会
- 28日(火) 奴奈川経済懇話会総会、酒田市商店街連合会来所
- 29日(水) 復興まちづくりビジョン策定特別委員会先進地視察、ヒスイと酒まつり合同実行委員会
- 30日(木) 復興ビジョン第一次取りまとめ作業、上越環境科学センター理事会、関東財務局糸魚川市復興フォーラム、会員旅行実行委員会

◆◆◆ 5月の予定 ◆◆◆

- ◎5月経営安定相談室 5月17日(水)
- ◎夜間経営相談(毎週月曜日に開催) 5月1日、8日、15日、22日、29日
- ◎正副会頭会議 4月28日、5月15日

雑感

春になり本町通り商店街の山岸呉服店前の雁木内で毎週土曜日10時から14時まで野菜や木工などを販売する「土曜楽市」が4月8日から再開した。大火の影響でお客様が少なくなるかと思われたが、顔なじみのお客様が来られ、楽しそうに会話をしているのを見て一安心した。野菜の種類も豊富で、今後山菜などが多く販売されるかと思うと楽しみである。また出店者が更に増えて賑やかになることを期待しながら自身も買い物も楽しんでいる。 (山)